（別紙様式例3）

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： R6 年 1 月 19 日　　　　事業所名： 放課後等デイサービスKiiiT松山南クラス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	2		部屋はいくつか分かれているため、利用しやすい。1階・2階に部屋がある為、スペースは確保されている。	30	1		1	活動別に部屋が用意されていて、本人が広いと言っています。 体を動かすスペースが少し狭そう（こどもの体が大きくなってきたので）	高学年の児童や体の大きい児童では、運動室が狭いため、休日時は公園などに出向き、利用している。
	2	職員の適切な配置	8			各部屋に偏りがないように児童数に応じて、配置も考えている。基本的人員はしっかりと満たしている。	29	1		2	言葉の発達がゆっくりなので、STがいればいい。	児童の人数に応じて、配置場所を変更したり、状況に応じて職員が移動している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	1	6	1	入り口や階段などの設備については、今後の検討課題。段差がある為、車椅子での移動は困難。身長が低い児童に対して、階段の段差が高く、降りにくいこともある。	31			1	本人が分かりやすいよと言っています。適宜、対応を変更してくれたりして助かっている。 予めスケジュールが分かりやすく、大きく掲示されています。 本人はどこの部屋で何をするか理解していると思うが、私は見学で見ただけなので、何となくしか覚えていない。	階段などバリアフリー化が難しい部分もあるが、入り口での段差はスロープの設置など可能な箇所からのバリアフリー化の検討が必要である。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8			毎日の清掃に手を抜かない。 清掃や換気を徹底して、毎日業務終了後に消毒等を心掛けている。	31			1	居心地がよいらしいです。	部屋はいくつかあるが、過ごしたいところで過ごしてもらい選択の自由を持たせている。毎日、夕方から清掃することにより、清潔を心掛けている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	7	1		朝会で情報共有や情報交換をして常々、改善に努めている。 毎日、時間を作って会議を行っている。						朝会に出勤している職員が出席し、課題や改善する点について、自由に意見を発表している。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	5	3		アンケート調査により、保護者の意見を知り、朝会で職員同士話し合い業務改善に努めている。						アンケート調査の結果を元に、職員間で改善点の検討・実施を行う。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8			外部研修に参加して学んだことを内部研修を実施して、情報共有出来ている。 順番に研修に参加する体制がある。						外部研修に参加した職員が、内部研修を実施して、職員全員に研修内容の報告をしている。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8			保護者や児童・職員・連携機関などから、情報収集を行い、1人1人にあった個別支援計画の作成に努めている。	32				本人の特性・性格を理解してくださり、作成してくださっています。	児童の希望やご家族様、職員間や連携機関などから情報収集を行い、1人1人にあった個別支援計画の作成を行っている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8			1人1人必要な項目を設定して、具体的に支援の内容を記載することが出来ている。計画の対象者である児童が説明を受けて、分かりやすい言葉を使い、支援内容を記載している。	32				モニタリングにて相談して計画を立ててくれて支援してもらっているから、日々の記録で確認出来ている。	計画の対象者である児童が説明を受けて分かりやすい言葉を使って支援内容の記載を行っている。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	8			1日のプログラムの中で個別活動と集団活動を組み合わせて実施している。 保護者や児童のニーズに合わせて、個別・集団ともに計画されている。						1日のプログラムの中で個別活動と集団活動を組み合わせて実施し、適宜、必要な項目を個別支援計画に記載している。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8			支援した内容を計画に沿って記録している。 毎日、個別の計画を確認している。	30			2		設定した個別目標に基づいて日頃から支援を行い、記録への落とし込みを行っている。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	8			必ず2～3人体制で行っている。 いくつかのグループに分かれて、企画を提案して、実施出来ている。						数人のチームに分かれて、企画・実施をしている。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	8			集団活動は、週ごとで内容が変わるようになっている。 運動・工作・外出支援など活動の場を広げて、意見を出し合っている。	32				楽しく参加できるよう工夫されていると思います。	毎月、プログラム内容を朝会等で検討・話し合いを行い、意見を出し合っている。SNSなどを活用し、多方面から得た情報をプログラムに取り入れている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	2		平日・休日・長期休暇で、個別の時間が取れていない時もあるので、別の空いた時間に取れる工夫をしていきたい。						児童の希望などを聞きつつ、長期休暇などを利用して、きめ細やかな設定を行う必要がある。また、長期休暇時での個別の時間の確保の仕方は再度、職員間で検討課題である。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8			朝会を行い、時間の都合上、朝会が行えない日はLINEで支援内容や役割分担を伝えて、各職員が確認をしている。						児童の振替休校日などで、全員が朝会に参加できない場合は、申し送りノートや職員の口頭での伝達などを活用して、情報の共有を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	2		翌日の朝会で前日の支援の振り返りを行い、意見を共有している。 緊急の場合は、話し合うが、緊急性がないものであれば、朝会で情報共有している。						その日のうちに支援の振り返りを行っているが、難しい場合は、LINEなどのツールを利用して情報の共有を行っている。緊急性のない情報に関しては、翌日の朝会にて共有を行っている。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8			児童の様子を対応した職員が記入している。朝会で支援の検証や改善点について話し合っている。正しく記録をとり、日々の支援の改善に繋げている。						日々の児童の様子を対応した職員が記入して、記録に残している。記録の内容に応じて、翌日の朝会で支援の検証・改善策の考案を行っている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8			定期的にモニタリングを行い、職員同士が計画を話し合い、見直しが必要か判断を行っている。						特別な事情がない限り、半年ごとのモニタリングを実施している。しかし、途中で状況が変わった児童に対しては、半年に関わらず計画の見直しを行っている。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8			児童発達支援管理責任者が担当者会議へ参加すると共に、状況に応じ必要な職員が担当者会議に参加することもある。						児童発達支援管理責任者が担当者会議へ参加すると共に、状況に応じて、児童により深く関わっている職員が担当者会議に参加することもある。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			8	現在は医療的ケアが必要なこどもや重症心身障害のあるこどもは在籍していない。						
関係機関との連携（続き）	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			8	現在は医療的ケアが必要なこどもや重症心身障害のあるこどもは在籍していない。						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	3		特別支援学校では、支援の情報共有として向上につながっているが、その他の学校でもより詳しく共有できればと思う。個人情報の兼ね合いもあり、提供される情報の幅が狭く、横の繋がり（関係機関との連携）が難しい時もある。						学校のお迎え時等、より詳しく情報共有が出来るように引き続き、積極的に関係機関への声掛けを行っていく。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	1	1	児童発達支援管理責任者・管理者が適切に十分に伝えている。						他の障害福祉サービス事業所を使い始める時には、担当者会議などに積極的に参加して、他の関係者とも情報共有に努めている。また、会議が難しい場合は、電話などでこちらの情報を伝えている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	6		研修が出来る機会があれば、積極的に参加している。今後、もっとたくさんの職員が今以上に受講できるような環境整備が必要。						各職員が研修情報の収集を行い、受講したい研修があれば、受講できる環境整備を行う。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	4		外出支援の際に地域のこどもたちと交流はあるが、それ以外で活動する機会は少ない。	10	2	4	16	今のところ、必要性を感じていない。 今までコロナもあったし、時間の確保もむつかしいので、仕方ないと思う。 参加はしていないが、機会はあった。	公園など外出した際には、地域のこどもたちと交流が出来るように配慮を行う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	5	2	新型コロナウイルスが五類に移行して、実施出来る状況になったので、今後の検討課題。						新型コロナウイルスが五類に移行して実施出来る状況になったので、今後どのように実施していくのか検討課題。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8			利用者の実費負担が発生する場合は、お手紙等で連絡を行っている。契約時や見学時に丁寧に説明を行っている。	32				HUGや書面、LINE等で丁寧に説明していただいている。	利用者負担等が発生する場合は、お手紙等で連絡を行っている。契約時や見学時に説明を行っている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8			ご家族様へ計画を説明する際には、計画を手元に用意して、丁寧に説明を行い、分からないところがあれば質問してもらっている。	32					ご家族様へ計画を説明する際には、計画を手元に用意して、丁寧に説明を行っている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	2	5	1	病院で行うような定期的なペアレントトレーニングは実施出来ていないが、アドバイスやご家族様から相談を受けた際に助言をしている。	21	5	1	5	ペアレントトレーニングをしてもらえるのか分からない。色々教えて下さい。	相談を受けるのを待つだけではなく、こちらからも声掛けを行い、相談しやすい環境を整えていく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	2		こどもの発達状況や課題について、共通理解が持てるようお迎え時等、話をしたり、話す場を設けたりしている。送迎時等に職員がその日の状況などをご家族様に伝えている。また、電話やLINEなどのツールを使って情報共有を行っている。	32				送迎の際にお話出来ている。HUGやお迎えの時は、その日の内容を伝えてもらっている。 いつも状況を聞いて下さり、励ましの言葉を頂いたり、助言して頂き、ありがたいです。 ハグでその日の様子を教えてもらえたり、送りの時に先生からも教えてもらえて、とてもありがたい。	送迎時等に職員がその日の状況などをご家族様に伝えている。また、電話やLINEなどのツールを使って情報共有を行っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8			電話やLINEなどのツールを使い、気になることや不安なこと、心配な事など、いつでも相談できる環境を整えている。	31			1	モニタリングを面談でしていただいている。熱意を感じることが出来る。 困った時には、相談の時間も作ってもらえて、気持ちが楽になりました。	電話やLINEなどのツールを使い、気になることや不安なこと、心配な事など、いつでも相談できる環境を整えている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	6	1	夏場に保護者参加の『バーベキュー』を行う等、活動の場を広げている。今後、状況に応じて開催の検討を行っていく。	10	5	4	13	今のところ、必要性を感じていない。 今年から利用しだした為、まだよく分からない。 今年は保護者も参加できる日もあって良かった。保護者同士話せる場もあれば嬉しい。 夏にBBQなど親子で参加出来るイベントが行われたので、保護者同士も会話できるよい機会だと思いました。	夏には他クラスと合同で保護者の方も参加出来る『バーベキューと海水浴』を実施した。新型コロナウイルスが五類に移行したので、今後、状況に応じて開催の検討を行っていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			速やかに管理者に報告・対応を行っている。また、苦情の内容に関しては、随時、朝会等、職員間で共有を行い、改善策の検討を行い、適切な対応に努めている。	26			6	まだトラブルが起きていないから、分からない。	速やかに管理者に報告・対応を行っている。また、苦情の内容に関しては、随時、職員間で共有を行い、改善策の検討を行っている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8			送迎時等、必ず情報の伝達・共有を行っている。 LINEやお手紙等でも情報を伝達している。	32					必要に応じて、視覚化や構造化により対応している。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6	2		会報は発行していない。SNSやホームページなどで活動の内容を発信している。また、月の行事予定表を作成し、各ご家庭に配布して、1ヶ月の内容等が分かるように情報の発信を行っている。	32				HUGで確認している。 いつも丁寧にネットにてこどもの様子や写真を送ってくださっている。	SNSやホームページなどで活動の内容を発信している。また、毎月、行事予定表を作成し、各ご家庭に配布して、情報の発信を行っている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8			個人を特定できるものの処分にはシュレッダーを使い、情報を持ち出さないように徹底している。また、契約書や個人のアセスメントシートなど、鍵付きのキャビネットに保管し、情報漏洩をしないように個人情報の取り扱いには十分、注意している。SNSの投稿の際は、顔や制服、名札等の個人情報は常に意識をして行動している。	31			1		個人を特定できるものの処分にはシュレッダーを使い、情報を持ち出さないように徹底している。また、契約書や個人のアセスメントシートなど、鍵付きのキャビネットに保管し、情報漏洩をしないように個人情報の取り扱いには十分、注意している。SNSの投稿の際は、顔や制服、名札等の個人情報は常に意識をして行動している。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8			作成している書面は、適宜、ご家族様にお渡しして、周知徹底を図っている。	29	2		1	契約時に説明していただいている。	作成している書面は、適宜、ご家族様にお渡しして、周知徹底を図っている。また、策定したマニュアルは、職員間で回覧するようにしている。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			避難経路・避難場所の確認を行ったり、災害について活動の中で勉強会を開いている。年に数回、定期的に防災訓練が行われている。	30			2	定期的に災害の避難訓練をしてもらっていると思う。	避難経路・避難場所の確認を行ったり、災害について活動の中で勉強会を開いている。
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8			1ヶ月に1回、必ず内部研修を行い、虐待防止の研修機会の確保を行っている。						1ヶ月に1回、必ず内部研修を行い、虐待防止の研修機会の確保を行っている。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	8			現在は身体拘束を行う事はないが、必要な判断としての緊急性、一時的、非代替性などを考えてサービスに取り組む。また、身体拘束についても月1回程度研修を実施している。						現在は身体拘束を行う事はないが、必要な判断としての緊急性、一時的、非代替性などを考えてサービスに取り組む。また、身体拘束についても月1回程度研修を実施している。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	7	1		医師の指示書のある児童は現在、利用していないが、事前にご家族様からお聞きしているアレルギー製品には注意して、食事（クッキングやおやつ）の提供を行っている。						医師の指示書のある児童は現在、利用していないが、事前のご家族様からお聞きしているアレルギー製品には注意して、食事（クッキングやおやつ）の提供を行っている。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6	2		ヒヤリハットの作成は行っているものの朝会などで時間が限られている場合、共有が出来ていないことがある。その場合は書面で残しているので、書面を回覧して情報共有を行っている。						朝会などで時間が限られている場合は、回覧などでヒヤリハットを職員間で確認し、次回に繋げるように努めていく。